

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ



海外での経験と還元

青森県観光国際戦略局誘客交流課 藤島 穰

冒頭ですが、クレア在勤中お世話になった国内外の関係者の方々に深く御礼申し上げます。現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、発生前とは異なる業務を手探りで進める状況ともなっていますが、早くこの事態が収束することを祈るばかりです。

さて、私にとってクレアでの3年間は、とても刺激的なものでした。東京本部経済交流課での1年間は、主としてクレアが主催する食品展（タイ・バンコク）開催にかかる調整をシンガポール事務所担当者とともに進めたり、国内外の経済活動にかかる補助金関連の業務等、さまざまな海外向け事業に従事させていただきました。他の自治体から派遣されている職員とともに勤務できたことも、貴重な経験です。シドニー事務所での2年間は、事務所や活動支援として現地イベントへの出展、姉妹都市交流行事への参加等、シドニーのみならずオーストラリア各地およびニュージーランドにおいてさまざまな事業に参加させていただきました。

異国での生活

オーストラリアは、積極的な移民政策で、人口が増加している国であり、居住者の約3割がオーストラリア国外生まれであるという統計があるほど、さまざまな背景を持った方々が住んでいます。渡航前は、日本人ということで周りに溶け込めず浮くのではないかと懸念を持っていましたが、自意識過剰なだけで、おそらくほとんどの人が気にしていません。その一方、現地に在住の日本人の方々は、同じ日本人ということで結構気にかけてくれます。日々の業務や生活の中で、大変お世話になりました。

現地における業務を通じて

シドニー事務所在勤中、姉妹都市交流にかかる支援や、調査等を通じ、オーストラリアのさまざまな地域の自治

体や地元関係者とお会いする機会がありましたが、特に印象に残っていることは、現地自治体におけるインターンシップ研修です。シドニー事務所では、在職中に自身で行き先を決めて調整し、1週間程度現地地方自治体で当地の取り組みを学ぶインターンシップを行うこととしています。一から受入れ先となる自治体に交渉して実施することとなるため、職員によっては非常に大変な思いをしています。私自身は、長崎県佐世保市の姉妹都市であるニュー・サウス・ウェールズ州内のコフスハーバーでインターンを行い、姉妹都市交流や観光プロモーション、企業支援等について話を聞く機会をいただきました。毎日必死でしたが、私にとっては非常に大きな経験です。

帰国後、直接的にクレアでの経験が活かせる場面というのはそう多くはないかもしれません。特に現在は渡航が制限されており、海外から来る観光客の姿が見られない状況となっています。ただ、再び国際的な人の移動が解禁され、海外からのお客様を迎えられる状況となった際には、地域の魅力が伝わるよう、微力ながら努めていきたいと思っています。



温かく迎えてくれたコフスハーバーのみなさんと

プロフィール

- 所属：青森県観光国際戦略局誘客交流課
- クレア時代の所属：
2016年4月～2017年3月 東京本部交流支援部経済交流課
2017年4月～2019年3月 シドニー事務所